



1000カ所を超える映画館も担当 “その空間に存在する音”の専門家

AMP

〒603-8311
京都府京都市北区紫野上柏野町46
TEL 075-462-6601
URL <http://amp-kyoto.com>



Company data

CEO 谷口 元信

大学卒業後、音響・映像・照明・機構などの設備設計を手がける会社に勤務。その後は同業界内で数社を経て、2010年7月に「AMP」を立ち上げる。原則的に機器販売はせず、音響調整に特化した事業を展開している。

タージン 学生時代からオーディオに興味がありだったそうですね。

谷口 はい。中学生のときから不思議と音響機器に関心がありました。そして好きなことを仕事にしようと考えて選んだ先が、映画館やコンサートホールといった音響設備の設計・納入を手がける会社というわけですね。それ以降、同業界内で数社を経験してノウハウを積み、独立を果たした形です。

タージン 好きなことを仕事にされ、起業にまで至られた。ある意味で天職だと言えそうですが、現在の主な業務内容について聞かせてください。

谷口 映画館の音響調整やイベントの音響設営、店舗のBGM、ホームシアターやオーディオの設置・調整など“音”に関連した業務を手がけています。基本的には音の「調整」がメインですが、ときには一から設計する特注品や、部品がなくメーカー対応ができない機器の修理なども積極的に手がけますよ。街にはスピーカーから発せられる様々な音がありますが、私どもが目にするのは「使用されている機材の性能がしっかり引き出されているか」ということ。言うなればピアノの調律師のような仕事です。

タージン より良い音を求めるには機材ごと買い換える必要があると思っていた私にとって、“性能を引き出す”という

発想は新鮮です。

谷口 そう思われる方がほとんどではないかと思います。それだけに「音響調整」がビジネスとして本当に成り立つのかどうか当初は確信を持ってませんでした。しかし創業間もない頃は問い合わせが少なかったものの、口コミと紹介だけで仕事が徐々に増えていったので、やはりそうした需要はあるのだと感じました。

タージン では、仕事をするうえでどんなことを心がけていますか？

谷口 理論上の数値を追求するだけでなく、お客様の好みを伺ったうえで最良の音を引き出せるようにしています。好みの音というのは、お客様によって微妙に異なるもの。言葉のやりとりについても抽象的な表現になりがちなので、調整前に入念なヒアリングが大切になってきますね。難しい作業ではありますが、それ

を完璧に汲み取って再現するのがプロとしての役割ではないかと思います。

タージン いわば「その空間に存在する音」そのものが商品というわけですね。高い専門知識があるだけに、きっと今後も多くの人に支持されていくでしょう。

谷口 これまで国内の映画館の半数近くを手がけるなど、現場の大半が商業施設や公共施設でした。これからは一般の方に向けてプロの技術を体感して頂けるような事業も手がけていけたら、もっと面白い展開になると思います。



Guest Comment タージン (タレント)

これまでオーディオの世界は、選ばれた人だけのものだと思っていましたが、“音”に精通した代表のお話を伺ったことで、とても身近に感じることができました。音は我々の生活の様々なところに溶け込んでいますし、良い音というのは誰でも実感できるものですからね。



▲音響解析ソフトを用いて“音”を精査している様子。音響のプロフェッショナルとして全国の映画館、約1000スクリーンの音響設計や調整を手がけている